



平成 23 年 5 月 9 日

各 位

会社名 川崎近海汽船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森原 明  
(コード番号 9179 東証第2部)  
問合せ先 経営企画部長 友井彰彦  
(TEL:03-3592-5816)

2011 年度中期経営計画（2012 年 3 月期～2014 年 3 月期）の策定について

当社は、今般 2011～2013 年度中期経営計画を策定しましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。(数値は全て連結ベース)

## 1. 全体的課題

- (1) 東日本大震災の影響による混乱から早期に立ち直り、収益力の向上と安定配当の継続をめざして着実な回復を図ってゆきます。
- (2) 顧客のニーズに応えるため時宜を得た船舶投資を図ります。

## 2. 部門別課題

### ① 近海部門

不定期船輸送では、石炭・チップ等ばら積み輸送用の船隊整備を進め、顧客ニーズに応じた競争力ある船腹提供により新規市場への業容拡大と安定的な収益体質の構築に取り組みます。

定期船輸送では、日本発着の鋼材、木材製品等の安定輸送量の確保と適正運賃の収受に努めるとともにアジア地域内での三国間輸送にも積極的に参入し、収支の改善を図ります。

### ② 内航部門

不定期船輸送では、中長期的な展望に立ち市況や荷主の動向を注視しながら、新規顧客の開拓を積極的に進める所存です。

定期船輸送では、東日本大震災により航路の基点である茨城港が大規模な被害を受けたため臨時的に京浜港への振り替え輸送を実施しておりますが、港湾復旧に合わせて一日も早く原航路への復帰を図り安定輸送量の確保をめざしてまいります。

フェリー輸送でも、八戸港が震災の影響で港湾設備が使用不能のため、青森港に臨時寄港しておりますが、復旧に合わせて早期に苫小牧／八戸の原航

路に戻し、2012年4月の新造代替船の就航を視野に入れた車両および旅客輸送量の拡大に取り組んでまいります。

### 3. 2011年度中期経営計画の数値

百万円

	11年3月期実績	12年3月期	13年3月期	14年3月期
売上高	38,904	41,600	43,400	45,500
近海部門	14,412	15,600	16,200	17,700
内航部門	24,410	25,900	27,100	27,700
その他	81	100	100	100
営業利益	2,689	1,100	1,900	2,700
経常利益	2,523	1,000	1,800	2,600
当期純利益	1,502	750	1,350	1,450

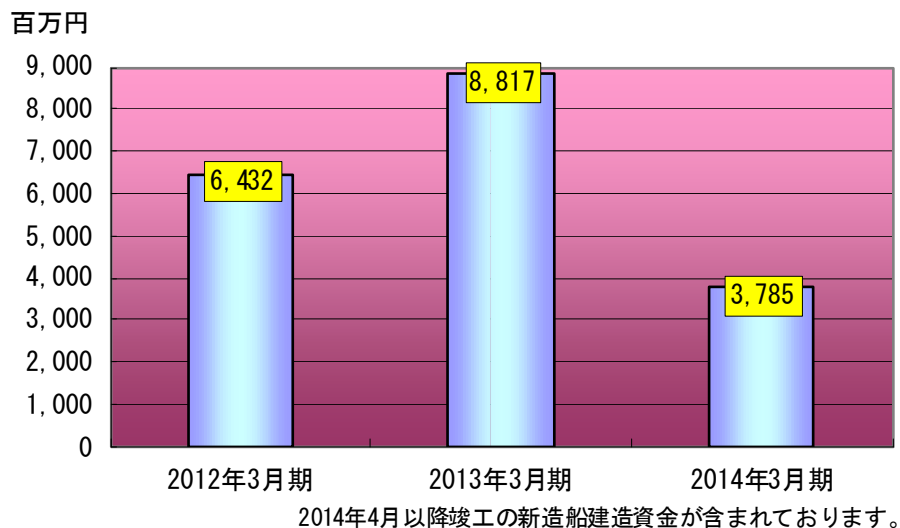
為替レート	¥86.58	¥85.00	¥85.00	¥85.00
燃料油価格	¥51,813	¥60,000	¥60,000	¥60,000

1株当たり配当金	¥10.00	¥7.00	—	—
1株当たり利益	¥51	¥26	¥46	¥49
予想配当性向	20%	27%	—	—

	11年3月期実績	12年3月期	13年3月期	14年3月期
営業利益	2,689	1,100	1,900	2,700
近海部門	728	-250	0	200
内航部門	1,913	1,300	1,850	2,450
その他	47	50	50	50

#### 4. 投資計画および財務指標

(1) 近海部門及び内航部門における新造船建造に対する投資規模は、3年間で総額190億円を予定しています。



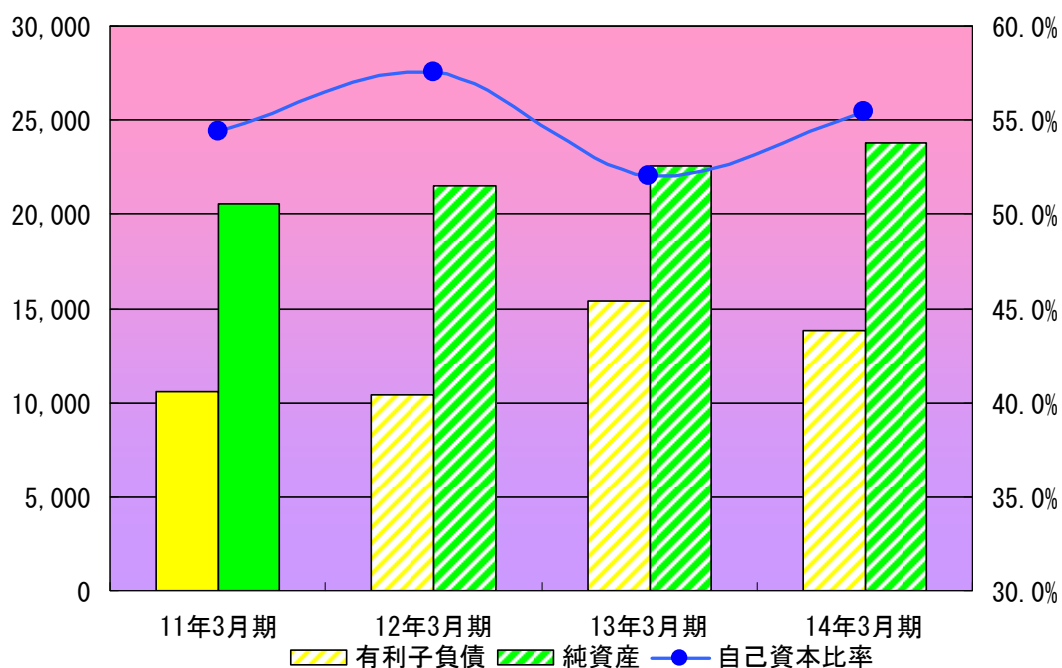
#### 期間中の新造予定船

<b>近海部門</b> ：一般貨物船	12,000型1隻 (社船)
同上	23,000型1隻 (傭船)
同上	16,000型1隻 (社船or傭船)
同上	28,000型1隻 (傭船)
<b>内航部門</b> ：石炭専用船	1隻 (社船)
旅客フェリー	10,700型1隻 (社船)
RORO船	14,000型2隻 (社船or傭船)

(2) 主要財務指標は次のとおりです。

(純資産、有利子負債は百万円)

	11年3月期	12年3月期	13年3月期	14年3月期
純資産	20,522	21,519	22,604	23,812
有利子負債	10,609	10,380	15,394	13,783
自己資本比率	54.4%	57.5%	52.0%	55.4%
ROE	7.5%	3.6%	6.1%	6.2%
DER (倍)	0.52	0.48	0.68	0.58



## 5. 配当

2011年3月期の期末配当金は、1株当たり5円を予定しており、年間配当金は10円になります。

2012年3月期の年間配当金は、1株当たり7円を予定しております。

2013年3月期以降については、今後の業績動向を総合的に勘案の上、決定いたします。

以上